

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立御南小学校____（※正式名称を記載）

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫 _____）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒〒701-0145

岡山市北区今保243-3

E-mail minans@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~minans/>

幼児児童生徒数 男子 392名 女子 431名 合計 823名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

御南小学校では、「地域発見プロジェクト」（3・6年生）「福祉プロジェクト」（2・4年生）「食と環境プロジェクト」（1・5年生）の3つのテーマを決めて、地域の方々と交流しながらESDに取り組んでいる。これらの学習では、単に社会が抱えている諸問題について知るだけでなく、自分たちにできることは何か考える学習を展開したい。そして、地域の人や歴史・文化との関わりを大切にし地域社会の一員として持続可能で住みよい社会づくりに主体的に関わる人に育てたいと考える。

① 地域発見プロジェクト～3年生 ふなゆうさん～

昔、この地区では川舟を使った人や物の行き来が盛んに行われていた。総合的な学習の時間に「ふなゆうさん」で川舟に乗り用水を巡る活動を入り口として、学区の歴史を調べる学習を展開している。そして「ふなゆうさん」に乗って用水の様子を観察したり、自分たちにできることを考えたりする機会にしている。

② 福祉プロジェクト～4年生 福祉体験～

総合的な学習の時間にアイマスクを着けて歩いたり階段を上ったりし、障害のある人の不便さや工夫を体験している。また、視覚障害の方のお話を聞いたり、盲導犬について教えてもらったりしている。さらに近隣の西支援学校との交流などを通して、体の不自由な人や目や耳の不自由な人の生活やバリアフリー、ユニバーサルデザインなどについて調べ、障害者理解を深める。

③ 食と環境プロジェクト～5年生 環境学習～

環境に詳しい方から、地球温暖化を考える学習をしたり、地域の用水の水を調べ、水の汚れについて考えたりして、自分たちにできることを校内の学年や地域の方に発信している。

④ 地域発見プロジェクト～6年生 防災学習～

大地震のボランティア活動に参加した消防署や商業施設の方から、地震後の様子や支援活動について話を聞き、自分たちの地域でできることを考えて、地域の防災活動に取り組んでいる。実際に新聞紙でサンダルを作ったり、防災カードを作ったり、火を使わない調理を体験したりして、災害が起こったときに、自分たちでできることを考えて実践する力も少しずつついてきている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・教育課程の中で、地域との関わりを大切にした取組として、ESDの推進を掲げている。また、キャリア教育の育成として、1年から6年まで地域の方やいろいろな職業の方にふれる機会をもつようにしている。
- ・各教科等の横断的縦断的な学習内容をもとにESDカレンダーを作成して、学年間、各教科間の学びのつながりを意識している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・毎年夏の職員研修を使って、ESDカレンダーの見直しを行ったり、外部講師を招いて、ESDについての共通理解を深めたりしている。
- ・地域協働学校連絡会の中に、地域連携推進部会を立ち上げ、継続的に地域と連携しながら学習に取り組める体制をとっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・学校評価のアンケートでは、体験活動の充実を図って子どもの総合的な学力が伸びていると感じている保護者が、55.4%（H27年度）から74.3%（H29年度）と伸びてきている。また、教員では、教育活動を通して子どもたちの郷土を愛する心が育ってきていると感じているのが、66.9%（H27）から74.1%（H29）と、少しずつ伸びてきている。しかし、地域の行事に参加する児童が少ないのが今後の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・活動については、学校便りやホームページなどで保護者に発信している。また、高学年では参観日に発表会をして伝えている。校内では、高学年が他学年に活動のまとめを発表し、交流を深めている。

・自分たちにできることを考え、学校で実践のきっかけをつくってはいるものの、実際に防災カードや非常持ち出し用袋を用意している家庭は少ない。しかし、自分たちの住んでいる地域の防災についての意識は高まっている。

・地域の方との交流やつながりがしっかり確保されて、登下校のあいさつなどの地域の方との交流に役立ったように感じる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

・イオンと連携をとり、外部講師を招いて防災プロジェクトやフェアトレードについての出前授業を行っている。その授業をきっかけに6年生が学習に取り組んでいる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

本年度は、交流はなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ① 「地域発見プロジェクト」

 - ・ 3年生・・・「ふなゆうさん」
 - ・ 6年生・・・防災学習, フェアートレード

② 「福祉プロジェクト」

 - ・ 2年生・・・近隣の子ども園や特別養護老人ホームとの交流
 - ・ 4年生・・・福祉体験, 西支援学校との交流

③ 「食と環境プロジェクト」

 - ・ 1年生・・・地域の方と一緒にさつまいもの栽培
 - ・ 5年生・・・環境学習